



気候変動を乗り越えるワークショップ鳥取

(特非)環境文明21

気候変動を乗り越える 地域社会づくりのための 人材育成と政策提言活動

ワークショップの
回数(奈良+鳥取)

4+2回

ワークショップの
延べ参加者数
(奈良+鳥取)

約80+約30人

活動の全体目標に
対する達成度

45%

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

課 題

日本はCO₂削減が進んでおらず、低炭素社会に向けた国民の関心と行動は不十分である。低炭素社会に向けて地域での取組みが不可欠であるが、人材育成が進んでいない。

活動内容

気候変動を乗り越え持続する地域社会づくりを率先して進めることのできる人材、つまり、地域の低炭素化、持続可能な地域づくりに必要な価値観、包括的な知識と広い視野・知恵を備え、実現のための具体的な方策（食とエネルギーの地産地消の推進、交通システムの変更、地域コンパクト化の可能性、脱炭素社会でのライフスタイルの提示など）を考えられる人材が、市民・NPO・行政等各セクターに複数いるようにする。



鳥取ワークショップでの
学生の参加の様子

今後の課題

気候変動を乗り越え持続する地域の構築に向けて、交通、食、再生可能エネルギーなど、地域や参加者の特性を生かしたテーマに関する市民からの政策提言を、奈良市、鳥取県などの各自治体または議会に提出する。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・気候変動や持続可能な地域社会づくりに対する参加者の意識が高まり、視野が広がった。
- ・ワークショップの参加者は、自ら地域の社会像のイメージが部分的ではあるが語られるようになった。

工夫

地域での連絡・まとめ役の方との連携を密にとった。(奈良市地球温暖化対策推進協議会と鳥取環境大学)